

生理学研究所 研究会

「痛みの理解を目指した 先端的アプローチ」

開催日;2017年1月30日(月)13:00-31日(火)15:30

開催場所;自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター

代表提案者;津田誠(九州大学)

世話人;富永真琴(岡崎統合バイオサイエンスセンター)

平成 29 年 1 月 30 日(月)

13:00 開会の挨拶

Session 1 座長:天谷文昌(京都府立医科大学), 川畑篤史(近畿大学)

- 13:10-(18) 細径線維侵害受容器終末の ASIC3 を介した遅発性筋痛の末梢神経機構
田口 徹(富山大学 大学院 医学薬学研究部 神経・整復学講座)
- 13:28-(18) Structural basis for TRPA1 inhibition by HC-030031 utilizing species-specific differences
Rupali Gupta (Division of Cell Signaling, Okazaki Institute for Integrative Bioscience, NIPS)
- 13:46-(18) 神経障害性疼痛における RNA 編集異常
内田 仁司(新潟大学 脳研究所 細胞神経生物学分野)
- 14:04-(18) 炎症性疼痛におけるスフィンゴ糖脂質の機能
渡辺 俊 (北里大学 薬学部 薬理学教室)
- 14:22-(18) 骨神経免疫トライアングル理論を基盤とした真菌感染随伴疼痛の発生機構ならびにその生物学的意義に関する一考察
丸山 健太 (大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 自然免疫学)
- 14:40-(15) ストレス性機能性胃腸症の胃痛覚過敏に肥満細胞に発現する CRF2 が関与する
小酒井 友 (金沢大学 医薬保健研究域医学系 機能解剖学)
- 14:55-(18) 針穿刺の痛みの評価を目的としたフォンフライフィラメントによるラットの足底刺激に関する行動学的及び電気生理学的解析
青柳 誠司 (関西大学 システム理工学部 機械工学科 ロボット・マイクロシステム研究室)

15:13- 休憩

Session2 座長:中川貴之(京都大学)

- 15:30-(15) オキサリプラチン誘発性冷刺激過敏応答における TRPA1 の関与
三宅 崇仁 (京都大学大学院 薬学研究科 生体機能解析学分野)
- 15:45-(18) シュワン細胞に対するタキサン系および白金系抗がん剤の異なる影響:抗がん剤誘発末梢神経障害の発症との関連
今井 哲司 (京都大学医学部附属病院 薬剤部)
- 16:03-(15) Paclitaxel 誘起神経障害性疼痛へのマクロファージ由来 high mobility group box 1 の関与
堂本 莉紗 (近畿大学 薬学部 病態薬理学研究室)
- 16:18-(18) 抗がん薬オキサリプラチン誘起神経障害性疼痛への Cav3.2 T 型 Ca²⁺チャネルと HMGB1 の関与について
坪田 真帆 (近畿大学 薬学部 病態薬理学研究室)

16:36- 休憩

Session 3 座長:加藤 総夫 (東京慈恵会医科大学)

- 16:50-(18) 母子社会分離ストレスマウスの恐怖関連行動の解析-痛みの「恐怖回避モデル」解明を目指して
小山 なつ (滋賀医科大学 生理学講座)
- 17:08-(15) 下肢アロディニア成立における扁桃体中心核の役割
杉本 真理子 (東京慈恵会医科大学 神経科学/痛み脳科学センター)
- 17:23-(18) 中枢機能障害性疼痛患者における脳部位間の機能的結合と背景要因・心理指標との関連:安静時 fMRI による検討
柴田 政彦 (大阪大学大学院 医学系研究科 疼痛医学寄附講座)

17:41- 休憩

特別講演 座長:津田誠 (九州大学)

17:50-18:40 脊髄後角インターニューロンの多様性と局所神経回路における役割
八坂 敏一 先生(鹿児島大学 医歯学総合研究科 免疫学分野)

18:50- 懇親会

1月31日(火)

Session 4 座長:岩田幸一(日本大学), 林良憲(九州大学)

9:00-(18) 成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達に及ぼすオレキシン A とオレキシン B の作用

熊本 栄一 (佐賀大学 医学部 生体構造機能学講座(神経生理学分野))

9:18-(18) 線維筋痛症モデルを用いた脊髄後角へのシグナル伝達機構解析

歌 大介 (富山大学大学院 医学薬学研究部 応用薬理学教室)

9:36-(15) 脊髄 high mobility group box-1 (HMGB1) を介した脳卒中後疼痛発症機序における脊髄 HMGB1 関連受容体とグリア細胞の関与

松浦 渉 (神戸学院大学 薬学部 臨床薬学研究室)

9:51-(18) 脳卒中後疼痛に対する dimethylarginine dimethylaminohydrolase 1 (DDAH1) の関与

原田 慎一 (神戸学院大学 薬学部 臨床薬学研究室)

10:09-(18) 脊髄痛覚伝達における L-乳酸の役割

大澤 匡弘 (名古屋市立大学 大学院薬学研究科 神経薬理学分野)

10:27- 休憩

10:40-(18) 2型糖尿病発症カニクイザルの脊髄後角におけるケモカイン発現変動

木口 倫一 (和歌山県立医科大学 医学部 薬理学)

10:58-(18) 慢性頭痛モデルの開発及び Photophobia 発症メカニズムの解明

田代 晃正 (防衛医科大学校 生理学講座)

11:16-(15) Macrophage in trigeminal ganglion contributes to ectopic orofacial pain following inferior alveolar nerve injury

Dulguun Batbold (東京医科歯科大学 口腔顔面外科)

11:31-(18) 難治性疼痛治療を目指した PACAP 特異的受容体アンタゴニストの開発

高崎 一朗 (富山大学 工学部生命工学科 生体情報薬理学研究室)

11:49- 昼食

Session 5 座長:徳山尚吾(神戸学院大学)

12:45-(18) 慢性疼痛における一次体性感覚野興奮・抑制バランスの役割

江藤 圭 (生理学研究所 基盤神経科学研究領域 生体恒常性発達研究部門)

13:03-(18) 自発運動による脳報酬系の活性化と Exercise-induced hypoalgesia

上 勝也 (和歌山県立医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座)

13:21-(15) 腹側被蓋野内モルヒネ活性化細胞の活動制御による神経障害性疼痛への影響

渡邊 萌 (星薬科大学 薬理学教室)

13:36-(15) 脳内 GPR40/FFAR1 シグナル活性化は社会敗北ストレスによる痛みの回復遅延を抑制する

相澤 風花 (神戸学院大学大学院 薬学研究科 臨床薬学研究室)

13:51-(18) GPR40/FFAR1 は内因性疼痛抑制機構に關与する
栗原 崇 (鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 生体情報薬理学)

14:09- 休憩

Session 6 座長:津田誠 (九州大学)

14:25-(15) 脊髄後角における interleukin-31 による痒み情報伝達機構に關する解析
間越 祐貴 (富山大学大学院 医学薬学研究部 応用薬理学教室)

14:40-(18) かゆみ止め成分クロタミンの作用機序の解明
橘高 裕貴 (生理学研究所 細胞器官研究系 細胞生理部門)

14:58-(18) 慢性搔痒に關与するアストロサイト STAT3 活性化メカニズム
白鳥 美穂 (九州大学 大学院薬学研究院 ライフイノベーション分野)

15:16 閉会の挨拶